

学校番号	18	学校名	西部特別支援学校	記載者	三上 英
------	----	-----	----------	-----	------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
	ア 事後も含めた緊急時の対応力向上	・発災後と緊急時の動きが理解できたと答える職員 100%	A	A	
		・緊急時の流れを理解し、周りの教員と連携をとりながら対応することができるかと回答する教員 100%			
		・発作やカニューレ抜去など緊急時の流れを理解し、周りの教員と連携をとりながら対応することができるかと回答する教員 100%			
(1)	イ すべての児童生徒が体調を整え、気持ちよく生活できるための取り組みの充実	・自立活動教諭、看護師と連携して円滑な医ケア体制が取れたと答える教員 90%以上	A	A	
		・食堂や教室が食事をする場として適切な環境であったと回答する教員の割合 90%以上			
		・安全な生活環境・学習環境が整っていたと答える職員 90%以上			
	ウ 多様性を認め合う高い人権意識をもった児童生徒と教員	・道徳教育全体計画を意識して「個別の指導計画」の作成、指導ができたかと答える職員 100%	A	A	
		・周囲への気遣い、配慮、感謝の気持ちを伝えることができた職員 100%			
(2)	ア 「主体的・対話的で深い学び」をめざした授業づくり	・新書式を活用し、具体的な目標設定と適正な評価を意識した授業実践各グループ1回以上	A	A	

		<ul style="list-style-type: none"> ・教育課程の検証、「個別の指導画」「年間指導計画」が充実したと答える職員 100% 			
イ 教員の専門性向上	<ul style="list-style-type: none"> ・肢体不自由教育や授業に関する知識・理解が深まり、授業改善に役立ったと答える教員 90%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・各研修が業務遂行に役に立ったと答える職員 90% (校内研修、PT・OT・摂食事例研修、PT/摂食外部講師講義) 	B	A	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の評価が高いことは、保護者を含めた関係者から見て安心できる。 ・真摯な取り組みであり、専門性を十分学べている。
	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の基礎的力がついたと感じる若手教員 90%以上 				
ウ 将来の姿を見据え、個の力を最大限に生かすためのキャリア教育の実践	<ul style="list-style-type: none"> ・複数教員で行う教育・進路資料等に基づく個々に最適な目標、集団、学習活動等の設定 	<ul style="list-style-type: none"> ・複数教員で行う教育・進路資料等に基づく個々に最適な目標、集団、学習活動等の設定 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・自己決定力、選択力、問題解決能力など、自分なりの表現ができるようになって卒業してほしい。 ・一人一台の iPad が整備されていてよいが、卒業後の施設は、そこまで整備されていない。iPad 以外で過ごせる力も付けてほしい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒が、体育活動やスポーツに親しむ学習環境づくりの推進 				
	<ul style="list-style-type: none"> ・他機関と連携した児童生徒が、読書に親しむための読み聞かせ活動の計画運営。わかふじ大会参加を目指した部活動の計画運営。 				
エ ICTの活用	<ul style="list-style-type: none"> ・電子掲示板でその都度タブレット実践例を発信したり、夏季研修でICT 機器の学びを深めたりする。 		A	A	

(3)	ア 各機関との円滑な連携と情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・学校公開やセンター的機能により外部に発信したり、支援会議等の情報について教員間で共有したりする。 	A	A	
		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者との連携を大切にした個別面談と進路相談の実施 			
		<ul style="list-style-type: none"> ・各種便り等による保護者と地域向けの迅速で有用な情報発信 			
		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者や関係機関の連携を大切にした個別面談と進路相談の実施 			
		<ul style="list-style-type: none"> ・知りたい情報にすぐアクセスできるようにレイアウトを変更する。(ホームページ) ・各学部に運用担当を設ける。(COC00) 			
	イ 地域の特色や自然環境に目を向けた学習の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・互いの理解が深まる交流方法・内容の工夫と事前打ち合わせの充実 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ過であって十分な活動ができなかったこともある。今後充実した活動になるとよい。
		<ul style="list-style-type: none"> ・児童会・生徒会による全校で取り組む SDGs を意識した活動。 			
	ウ 学校運営協議会による地域に根付いた学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・本校と地域の連携の在り方等について、各委員それぞれの立場からの提言と協議 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との関わりとして、花壇で花や野菜を育てる取組ができるかもしれない。自治会でもPRしていく。
(4)	ア 風とおしの良い職場づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・職員縦割り小グループでの「語り合う会」の実施 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・全校が混ざり合い、だれとでも気軽に話ができる環境づくりができるとよい。
	イ 学校運営課題の解決に向けた組織的な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数チームによる課題解決プロジェクトの実施 ・運営委員を小グループに分けた連携ミーティングの実施 	A	A	
	ウ 指導の充実に向けた業務の整理・精選	<ul style="list-style-type: none"> ・会議の意義と精選、時間と効率を意識した会議の実施 	B	B	